

燃え  
四中  
学校たより

みがきあう



13限目

10月  
24日  
金

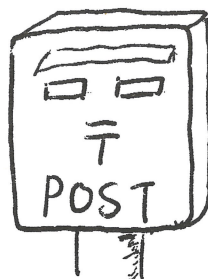
# 届くはずのない手紙

こんなクラス 学年。  
学校にならないうね

生徒のみなさんには、後期の始業式の時に、那須くや坂口君、浦本君が何も言われ  
ないのに始業式の準備を手伝ってくれたことを紹介して、後期は**周りのことに気を  
配って**、自分のクラスがよかった、クラス替えをしたくないと思えるように動いてほしい。と  
いう話をしました。そこで、損得勘定なしに、周りのために動くというエピソードを  
紹介しますね。

ガラパゴス諸島にあるフロアレス島。ここにある郵便局には、不思議なことが  
おこります。それは... そこにあるポストに、旅行の記念にと手紙を入れると、どの  
国に出してもきちんと届くのです?? ...人? それのどこが不思議なの?? そう、  
ごく当たり前のことですね。不思議なのは、**『その郵便局には人がい  
ない!』**ということなんです。郵便局員が時々やってくるというわけでもなく、  
まさに無人の郵便局にあるポストだ、ということなんです。では、なぜそこに出した  
郵便物がいる人な国に届くのか??

それは、そこに観光に来た人が、自分の国あての郵便物を見たら、国に持って  
帰り、自分でお金を出して切手をはり、自分の国のポストに入れていくから  
だそうです。素晴らしい話ですね! 気づいた人が、**自分のためになく  
ても、相手の喜ぶ顔のために、少くとも自分が損をしても  
(切手代はその人が出します) 行動してくれる。**



もちろん、当事者や相手は、誰がそんなことをしてくれたかなんて、知りもしない。  
ボランティアをやってみると、特に感じるのですが、**『相手のために』**とか**『喜んでくれる  
なら』**と思ってくれたことなのに、11月の間にか自分の喜びになっていくことがあります。  
こういったことが、クラスの中で、みんなに起こり始めれば、必ずみんなが  
**『このクラスでよかった!!』**とを感じるようになります。

しかし、そういう心がみんな同じ歩調で高まっていくとは限りません。ほかの人のため  
に動いてくれている人がいる横で、周りのことを考えずに、自分勝手な行動をとる  
人もいます。“なんで?”と思うこともあるでしょう。でも考えてみてください。

クラスの中には数学が得意で、教えられたらすぐ解けるようになる人もいれば、  
何回も丁寧に教えても、なかなか理解できずに解くのが苦手な人もいます。

心も同じです。話を聞いたら、すぐに人のことを考えて動けるようになる人もいれば、  
どうしても理解できずに変えられない人もいます。そういうときは、勉強を教え  
てあげるのと同じように、根気強く、くり返し、**『そんなことしたらダメヤン』**とか、  
**『こがした方がよかばい』**と周りの人たちが教えてあげてください。前に、ノミ  
の話をしたと思いますが、**『環境が人を育てます』**クラスの雰囲気がいかに  
変わってくれば、必ずそこにいる人も変わってきます。今年度の残り半分の時間を  
大切に、11月クラスにみんなで行きましょう。

**『人にわからないようにするのが本当の親切』**と言いますが、お互いが  
相手の喜ぶ顔のために動いてくれるようなクラスになると、居心地はいいですね。

先生の言葉は、大人の私が見ても大変勉強になります!  
大人になると、節目というものがどこなのか分からなくな  
ります! 大半は、子供の卒業が節目になるのでしょうか?  
子供だけでなく、私も「子育てを頑張った!」「仕事と家事  
の両立を頑張った!」と言える人になっていたいと思います。  
子供は私が子供の頃よりもはるかに頑張っているように思  
います!  
その頑張りを大人になっても続けれるように更に頑張って  
ほしいです。  
竹のように基盤を硬くまっすぐに、成長していってくれる  
と信じています。

やってみましょう!!

返信ありがとうございます!!

返信をいただき  
とても嬉しいです。  
本当にありがとう  
ござります。

